



”今必要とされている、
支える“活動

住民の方々が互いに助け合い、協力しあうことで
台風19号による被災直後の
困難を乗り越えてきた、宮城県丸森町。
災害後はボランティアの方も多く訪れています。
この地で、JENがサポートできること。
現地を何度も訪れ、
地域の方々からお話を伺うことで、
今、必要とされる支援が見えてきました。

JEN東京本部から皆さまへ

宮城県丸森町やパキスタンでの支援活動を続ける傍ら、
東京本部では5年に一度の認定資格の更新申請を行って参りました。
ご存知の方も多いと思いますが、この認定資格は寄付された方がその寄付の税控除を受けられる仕組みです。
認定資格の更新にあたり、JENでは過去5年分の詳細な資料の提出とともに、
昨年の不適切な事業執行に係る報告書および再生に向けた取り組みなどもご説明いたしました。
税控除は、寄付をする人にとってメリットがあるのはもちろんですが、
『税金を使ってでも行った方がいい事業』として公益性が求められることと理解しています。
皆さまの応援のお蔭もあって、この度、認定資格を更新できることになりました。この資格は5年間有効です。
ご寄付を託して下さる皆さまが、今まで通りに税控除を受けられることに安堵しています。
そして、これまで以上に、支援の意味を追求し、
事業だけでなく運営の質も高めた形で自立を支える活動を実施できるよう、
再発防止策にも日々取り組みつつ、支援を続けます。
紛争や災害で厳しい環境にある現地の人々が、自分たちの力をもう一度発揮して、
精神的にも経済的にも自立するまでには、長い年月がかかります。
多くの皆様のご支援があって活動ができることに感謝をしながら、
今までも、現在も、そしてこれからも、この活動を続けてまいりたいと思います。

JEN理事・事務局長
木山 啓子

簡単に参加ができる
寄付プログラム

年末年始に“ご参加”ください!

去年の未使用年賀ハガキ、書き損じのハガキはありませんか?
あなたの未使用の(書き損じた)年賀状や官製ハガキ(郵政ハガキ)または、未使用切手をJENの東京本部にお送りください。JENの支援活動のために活用させていただきます。

〒107-0052
東京都港区赤坂7-5-27-305
特定非営利活動法人ジェン「ハガキ・切手係」

使わなくなったアクセサリーや、カメラなどは…
お宝エイド
<https://www.jen-npo.org/otakara-eido/>

読み終えた本や、DVD、ゲームソフトは…
BOOK MAGIC
<https://www.jen-npo.org/bookmagic/>

ファッションアイテムはご寄付も購入も支援に…
Fashion Charity Project
<https://www.jen-npo.org/fcp>

※本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載は固くお断りいたします。
※QRコードを読み取る際、無料アプリをお使いの方は、アプリによって広告が表示される場合がございます。間違っても広告をクリックされないようご注意ください。

東京本部事務局の住所について
今回ニュースレターをお送りする際に使用している封筒の記載住所は旧住所となります。修正に要する費用などを勘案した結果、封筒に表示する住所については、当面古いままで使用し続けることといたしました。皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解賜われますようお願い申し上げます。



マトロープ家の皆さんにお話を伺った時の様子。

「パキスタン」 地震のあと、 寒い冬に直面しています

パキスタンのアザド・ジャンムールカシミール(以下JK)地域では、2019年9月24日にマグニチュード5.8の地震が発生し、約11万人が被災しました。甚大な被害を受けたミルプール及びピンバール県をJEN調査チームは訪問。モラケケリ村のヌスラット・マトロープ夫人には、夫、年離れた親、そして4人の子ともがいます。夫の仕事に

加え、一家の収入安定のために、夫人は縫製をしていました。彼女の収入はスーツを着縫って約200パキスタンルピー※です。今回の地震で、娘は負傷し、夫は地震のトラウマで働くことができなくなりました。飼っていた牛もケガをしたので安い価格で売り払いました。家具、台所用品、家畜飼料などは全て瓦礫に潰され、夫人の大切な仕事道具であるミシンも、地震で壊れてしまいました。

AJKの行政は夏テントの提供をしてきましたが、この地域では毎年12月以降、平均最低気温が一桁台まで下がり、子どもや高齢者には厳しい環境です。JENでは、越冬支援の準備を進めており、寒い冬を越せるように一日も早く最低限の物資を提供する予定です。

※日本円で約140円(2019年12月)



「宮城県・丸森町」

地域住民の結束が強い この地での支援とは 「まるもり復興応援『福まねきツアー』」

10月12日に発生した台風19号により、宮城県丸森町では住民の約2割にあたる1,021世帯が浸水被害を受けました。住民の半数以上が高齢者の地区もあり、避難は容易ではありませんでしたが、互いに声を掛け合い、集団避難をした地区や、ポートで隣家へ避難し一命をとりとめた方もいらっしゃいました。

発災直後は、歩行が困難な方へ近隣住民が給水所から水を運んだり、被害が比較的少なかった地区では、断水している地区の住民へお風呂を開放したりと、地域の皆さんが協力しあって、困難を乗り越えてきたというお話を伺いました。

その後、丸森町災害ボランティアセンターが立ち上がると、多くのボランティアが来てくれました。泥だしや掃除など、家が片付いていくことで、気分が休まる住民の方も多かったです。地域の皆さんが協力をしあい、災害前の暮らしを取り戻すべく懸命に取り組んでいらっしゃいます。

JENは発災直後より、住民の皆さんをお手伝いしながら、お話を伺い続けてきました。遠慮する気持ち、家が散らかったままで生活している方。自分よりも厳しい環境にある方

を思い、誰にも悩みを打ち明けられずにいる方。台風発生から2ヶ月、被災の程度はさまざまですが、今必要とされることが浮かび上がってきました。それは、状況を日々改善しつつストレスや経済的なことに対する不安な気持ちを低減すること。地域の皆さんが、自分たちの力をさらに発揮しようという気持ちになっていただくためのお手伝いです。

そこでまずは、まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会主催のツアー『福まねきツアー』をサポートさせていただくことになりました。このツアーは、丸森町で観光を楽しんでいただくツアーです。繭の猫だるま作りや、丸森町ならではの正月行事の体験。観光客の方々がこの地を訪れ、賑わい、地域の皆さんと交流をしていただくことこそ、復興に向かう大きな活力になると、JENではこれまでの経験から感じています。

丸森町の復興を目指して、皆さんとともに、地域を支える活動に従事してまいります。

「まるもり復興応援！『福まねきツアー』の詳細はホームページをご覧ください。」



パキスタンの女の子に 安心できる学びの場を！

経済的な要因、文化的な背景、安全面の課題。子どもたち、特に女子児童が教育を受けるまでに、多くの困難を克服しなければならぬ地域があります。JENは、クルガラサルパク女子中学校における修学環境改善支援プロジェクトを立ち上げました。校舎を取り囲む外壁の増築工事、校舎の排水システムの設置など、100万円のご寄付を目標に、プロジェクト実現までご支援をどうぞよろしく願っています。

プロジェクト実現まで
残り802,000円

2019.12.2
現在

このプロジェクトに賛同して下さる方は、Webの寄付ページよりご寄付をお願いいたします。

寄付ページを見る方法

◆下のQRコードより
◆JEN公式サイト
TOPページ
右側のバナーより



ワインを飲んで国際協力
チャリティワイン会に
ご参加いただき
ありがとうございました



当日は88名の方にご参加いただき、ワインとワインに合わせたコース料理をお楽しみいただきました。

2019年10月28日にシャトー・ラグランジュチャリティワイン会を開催いたしました。ミニトークショーでは、シャトー・ラグランジュ副会長の椎名様によるボルドーでのワイン造りに関するお話、熱心にメモを取る参加者も。蔵出しワイン・テージワインのオークションも大いに盛り上がり、収益金は50万円を超えました。チャリティワイン会開催にあたり、シャトー・ラグランジュ様はじめ協賛各社の皆様、運営ボランティアの皆様、参加して下さった皆様へ、改めて感謝申し上げます。